

Q 3. 退職後も5年間の補償が続くが、5年以降に結審し、損害賠償金が発生した場合は補償されるのか？

－損害賠償請求が最初になされた時点で保険に加入されていた案件であれば有効な保険契約として補償されます。

＝建設系機構・公社等職員の皆様へ＝

建設系機構・公社等職員向けに「建設系機構・公社等職員 賠償責任保険制度」もございます。

対象となる機構・公社等については、全建ホームページでご確認下さい。

ご注意!!

この保険は、①「全建の会員である」ことと、②「公務員である」ことが加入条件です。加入された後も、常に、①「全建の会員である」ことと、②「公務員である」ことにご留意下さい！

(例：転勤された際、転勤先においても全建の会員登録手続きを忘れずに行っていただくようお願いします。)

上記のほか、よくある問合せについては、全建ホームページ（建設系公務員賠償保険制度）「よくあるQ&A集」にまとめてありますので、ご参考願います。また、パンフレットの請求やご不明な点につきましては、下記までお問い合わせ下さい。

5. お問い合わせ先

- 保険内容に関する問合せ・ご相談窓口・資料請求
取扱代理店：建栄サービス株式会社 木村
TEL：03-3291-6340 E-mail:kenei-s-hp@kenei-s.co.jp
引受保険会社：東京海上日動火災保険株式会社
TEL：03-3515-4122（担当）公務第一課 今関
- 会員に関すること等
団体保険契約担当：（担当）全建会員課 小沢・杉戸
TEL：03-3585-4546 E-mail:kaiin@zenken.com

Dr.クマの“健康のヒント”

夢のクスリ？



この数日、テレビをはじめとするメディアでアルツハイマー病の画期的な治療薬が米国で承認されたということがしきりに流されている。アデュカヌマブというこのクスリは早期の患者さんに月1回注射することで、アルツハイマー病の原因の1つとされている脳内アミロイドβを劇的に減らしたことから、迅速承認されたのだ。日本の企業が共同開発していたことや、病気の深刻さから期待が高まっているのは良く理解できる。しかし、いくつか気になる点がある。まず、迅速承認というのは言ってみれば仮免許にあたり、当面販売していいけど、できるだけ早く本当に効果があるか証明して下さいね、くらいの意味あいになる。現在のデータでは、アミロイドβ

が減ることはわかったが、臨床効果があるかどうかについては結論づけられない状態なのだ。アルツハイマー病の原因はアミロイドβだけではない。クスリの効果は一部の検査データだけでなく、患者さんでの臨床効果で判断しなければならない。また米国での薬価は年間600万円、日本に当てはめると2割負担で120万円という高額になる。アデュカヌマブは日本でも昨年末に申請されている。日本でも米国と同じ判断がされるのか、別の扱いになるのかはまだわからないが、コスト、リスク、ベネフィットをきちんと見極めてゆく必要があるようだ。

北里大学医学部 教授 熊谷 雄治